

## 한통련 뉴스레터

제18호

発行:在日韓国民民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284

メール chuo@korea-htr.org ホームページ https://chuo.korea-htr.org/

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

## 정세 情勢

## ●韓米安保協議、朝鮮半島の平和・統一に逆行し軍事緊張を高めるばかりだ！



韓米の軍当局は12月2日、ソウルで第53回韓米定例安保協議会（SCM）を開催、徐旭国防部長官とオースティン国防長官がSCM後に共同声明を発表した（写真）。共同声明では、朝鮮の核・ミサイル脅威の高まりに対応するため、作戦計画の最新化に向けた新たな戦略企画指針（SPG）を承認したと明らかにした。最後のSPGの承認は2010年に行われており、11年ぶりの大々的な修正作業となる。両国の軍当局は今回承認されたSPGに基づき、従来の韓米連合軍司令部の軍事計画「作戦計画5027」「作戦計画5015」をアップデートする方針。オースティン氏は朝鮮の核とミサイルの高度化が域内の安全保障を不安定化させているとして、「北朝鮮（※正しくは朝鮮）に対し外交的アプローチの意志を持っており、対話を提案し続けている」と述べた。両国が朝鮮を対話に引き出すため朝鮮戦争の終戦宣言を推進する一方で、朝鮮の核に対応するための作戦計画を策定することに関し、徐氏は「終戦宣言は政治宣言的な意味があるため、作戦計画のためのSPGと関係ない」と述べた。また、徐氏は米軍主導の韓米連合軍が持つ有事作戦統制権の韓国軍への移管に関し、有事作戦統制権を将来的に行使することになる韓国軍主導の未来連合軍司令部の完全運用能力（FOC）検証を来年に行うと明らかにした。FOC検証は未来連合軍司令部の能力を検証するための3段階の手続きのうち2段階目にあたる。一方、共同声明では初めて「台湾」を明記。「2021年5月の韓米首脳会談の共同声明に盛り込まれた、台湾海峡での

平和と安定の維持の重要性を確認した」とした。SCMの開催に対して、韓国進歩連帯、参与連帯など84の市民社会団体は2日、ソウル市内で「主権は条件ではない。作戦権を返還せよ！ 軍備増強の代わりに平和を選択せよ！」をテーマに共同記者会見を開催した。参加者は△無条件で戦時作戦統制権を返還すること△サード（高高度ミサイルシステム）を撤去すること△MD（ミサイル防御体系）への参与に反対する△2022年の韓米合同軍事演習を中止すること△中国をけん制するための米国のインド太平洋戦略への参与に反対する△韓米日軍事協力に反対する△韓米防衛ワーキンググループの新設に反対する△米製兵器増強を中止することなどを主張し要求した。3日には全国民衆行動（準）もSCMの結果に対する糾弾声明「最終的に朝鮮半島の南側を前哨基地化しようとするのか！」を発表した。

「作戦計画5015」は、全面戦争によって朝鮮の体制を転覆させ全土を占領することを想定した「作戦計画5027」を下敷きに行っているといわれる。5015は、核兵器や弾道ミサイルによる軍事攻撃を朝鮮が行う兆候があると判断した場合、核兵器を含む手段で朝鮮の核・ミサイル基地に対し一斉に先制攻撃することに軸足を置いており、金正恩朝鮮労働党委員長ら指導部の暗殺を図る「斬首作戦」なども含まれている。朝鮮の対外宣伝メディア「統一のこだま」は11日、作戦計画のアップデートを「朝鮮半島情勢を最悪に追い込む」と非難した。作戦計画のアップデートは、いわゆる「北侵作戦」をさらに高度化、深化させることを意味し、米国の朝鮮への提案「敵視していない。無条件対話を望む」を完全否定し、いまさらながら米国の本音が明らかになったといえる。「台湾」の明記は、米国の対中国包圍網に韓国が軍事的に組み込まれたことを示し、韓中関係に悪影響を及ぼすのは間違いない。韓米安保協議は朝鮮半島の平和・統一に逆行し、軍事緊張を高めるばかりだ。

## ●文在寅大統領、北京冬季五輪「外交ボイコット」は検討していないと明言

サキ米大統領報道官は12月6日の記者会見で、中国政府による新疆ウイグル自治区での「人権侵害」への対抗措置として、来年2月の北京冬季五輪に外交使節団を派遣しないと発表した。米選手団は参加する予定。サキ氏はまた、バイデン政権は同盟国に今回の決定を通知しており、追従するかどうかは「それぞれの国の判断に委ねる」と述べた。中国外務省は「外交ボイコット」を宣言した米国政府を強く糾弾し、「スポーツの政治化を中止すべき」と主張。朝鮮外務省はホームページに中国外務省の発言を紹介した。国際オリンピック委員会（IOC）の報道官は、AFP通信に「政府当局者や外交官の出席は各政府の純粋に政治的な決定であり、政治的に中立な立場からIOCはそれを尊重する」と語った。一方、オーストラリアを国賓訪問した文在寅大統領は13日（現地時間）、首都キャンベラでモリソン首相と首脳会談を行った後の共同記者会見で、外交ボイコットに関連し「韓国政府は（ボイコットを）検討していない」と述べた。文大統領は「北京冬季五輪に対する外交ボイコットについては、米国をはじめとするどの国からも（ボイコットに）参加するよう勧誘を受けたことはない」と説明した。また、文大統領は「韓国は米国との同盟を外交と安保の根幹としているが、経済的側面においては中国との関係も非常に重要だ。朝鮮半島の平和と安定、そして北（※正しくは朝鮮）の非核化のために中国の建設的な努力が求められる」として、韓国は米国との堅固な同盟を基盤に、中国とも調和の取れた関係を維持するよう努力していると説明した。韓国と朝鮮、米中が参加する朝鮮戦争の終戦宣言については、「関連国がすべて原則的に賛成の立場を示した」と述べる一方、朝鮮が米国の対朝鮮敵視政策を根本的に撤回することを前提条件として求めており、まだ対話に入れていないと明らかにした。米国主催の民主主義サミット（9～10日、約110カ国・地域の首脳らがオンライン形式で参加）では、文大統領は「韓国は民主主義の価値を証明する代表的な国」とし、「権威主義が国民を抑圧するたびに、韓国国民は平和的な市民革命で民主主義を守って進展させ

た」と述べたが、中国について直接的な言及は避けた。

文在寅政権は安保は米国、経済は中国と、それぞれの関係をバランスをもって維持することを基本原則としている。しかし、米国が対中包囲網の構築で中国への圧迫を強化し、それに伴い米中関係の緊張が激化する情勢のもとで、米国からは韓米同盟をてこにした圧力をかけられ、中国とは経済面だけでなく朝鮮半島の平和維持の課題でも良好な関係が必要とされるなど、韓国政府は綱渡りの外交を強いられているのが現状だ。民主主義サミットでの文大統領の発言は、そのことをよく示している。そうした中、バイデン政権が打ち出した北京冬季五輪の外交ボイコットに、韓国政府が追従しなかったことを評価し支持したい。情報共有の枠組み「ファイブ・アイズ（米、英、豪、カナダ、ニュージーランド）」は外交ボイコットを決定した5カ国でもあり、その一員である豪州で発言したことは、外交使節を派遣するとの意思表示とみてもよいだろう。米国「ボイコットは各国の判断に任せる」と韓国「ボイコット勧誘はない」が、追従しなかった外見上の理由としてあげられるが、文政権としては、後に南北、朝米首脳会談を生み出す始発点となった2018年の平昌冬季五輪のように、北京冬季五輪には終戦宣言の実現に向けた可能性を残しておきたいというのが本音だと推測される。文大統領は、朝鮮が米国の対朝鮮敵視政策を根本的に撤回することを前提条件として求めているので、まだ対話に入れていないと明らかにした。「敵視していない」「無条件対話を望む」と繰り返すばかりの米国を説得することなしには、終戦宣言の入り口の扉は閉まったままの状態が続くだろう。なお、文大統領の「（終戦宣言について）関連国がすべて原則的に賛成の立場を示した」との発言は、大統領府（14日、朴洙賢国民疎通首席秘書官）によると、終戦宣言は10・4宣言や板門店宣言などですでに関係国が賛成したものであり、韓国政府が強い意志で疎通を重ねて条件が整えば、実現可能な合意だとの意味。

## ●民主労総と進歩政党、大統領候補一本化に合意



12月11日、ソウルをはじめ全国13地域で

「2021民衆大会」が開催され、参加者は「不平等を打破しよう」と声をあげ、「2022民衆総決起（1月15日）」に向けて決意を高めた（写真）。その翌12日には、民主労総、進歩5政党（正義党、進歩党、緑色党、労働党、社会変革労働者党）、「ハン・サンギョ（※民主労総の前委員長）労働者大統領候補選挙対策本部（仮）」が、ソウル市内の民主労総会議室で開かれた「不平等打破のための大統領選挙共同対応機構」の会議で、候補一本化の推進に合意。具体的な進め方については、論議を経て今月末までに確定するとした。最大の焦

点である候補選出方式としては、約100万人の民主労総組合員と農民、女性、青年などで構成された選挙人団が候補を選出する「民衆競選」（※競選は予備選挙を意味する）が有力視されている。ハン前委員長は9日、民衆競選を前提に出馬を表明後、共同対応機構に合流した。民主労総のイ・ヤンス政治委員長は「進歩陣営の団結と大統領選挙闘争勝利のために、民主労総は最善を尽くして自らの役割を果たす」と表明した。民主労総と進歩5政党は9月7日、共同対応機構を構成、11月13日に開かれた全国労働者大会で、大統領選挙に向けた共同宣言を発表し共同闘争を展開することを明らかにしていた。

ますます広がる格差とコロナパンデミックのしわ寄せにより、労働者民衆の生存権が極度に脅かされ

ている。こうした状況を打破し転換させるために、進歩民衆陣営では労働者大会、農民大会、貧民大会、民衆大会を連続して開催し、その成果を2022民衆総決起に結実させる計画だ。一方、民主労総と進歩5政党で構成した大統領共同選挙対応機構は、共通政策である共同宣言を掲げて共同闘争を決議し、さらにはハン・サンギョ本部を加えて候補一本化にも合意した。これが実現すれば、大統領選挙の運動空間で広範な労働者民衆闘争と労働者民衆候補者の選挙運動が有機的に連関しながら、労働者民衆の要求がより目に見える形で示され、政治・経済・社会の大転換を促すうねりを生み出すことも可能となるだろう。進歩陣営の団結で候補一本化が実現し、進歩政治勢力が進歩大連合へと飛躍することを期待したい。

## 활동보고 活動報告

### ●兵庫で「第15回伊丹マダン」を開催



12月5日、「第25回伊丹マダン」が兵庫県伊丹市のスワンホールで開催された。コロナの影響により屋内開催となったが、開場には多くの地域住民が詰めかけ、大盛況となった。主催は韓統連兵庫本部も参加する同実行委員会。

午前の部では朝鮮学校の歴史を描いたドキュメンタリー映画「アイたちの学校」を上映し、朝鮮

学校の歴史や在日同胞の状況を共有。午後の部では、さまざまな国や文化のステージを披露し、会場は熱気に包まれた。メインステージとして、在日同胞のパフォーマーである「ちゃんへん」氏が出演。見事なジャグリングを披露した後（写真）、同氏の人生を語るトークショーを行い、会場は笑い感動に包まれた。

その他にも展示や民族衣装チョゴリの試着、クイズ、世界のおもちゃなど、様々な企画や体験コーナーもあり、大人から子どもまで楽しみながら民族文化に触れる空間となった。

実行委員会はまつりを振り返り、「グローバル化の流れはあるものの、今もなお根強い民族差別が残っている。真の国際化を実現するまで、来年以降もマダンを継承・発展させていきたい」と語った。

### ●東京で「第9回国連人権勧告の実現を!」集会を開催



指宿弁護士による講演

12月10日、参議院議員会館で「第9回国連人権勧告の実現を!なぜこんなに冷酷なことができるのか?外国人の人権からみた日本」が開催され

た。主催は同実行委員会。集会の冒頭では、ピースポートの野平晋作事務局長が主催者挨拶。「日本では技能実習生制度や入管の問題など、外国人に対する人権侵害が深刻だ。本日の集会を通じて、日本に暮らす外国人が、普通に安心して暮らせる社会をつくるにはどうすれば良いのか、ともに考えていきたい」と語った。

基調講演では弁護士の指宿昭一氏が「使い捨て外国人 人権なき移民国家 日本」と題して講演。日本の外国人政策の問題点について語った。指宿氏は、今年3月に名古屋入管で発生したスリランカ人女性ウィシュマさん死亡事件について解説。「名古屋入管は、ウィシュマさんの在留希望を無視したうえ、健康状態の悪化を放置したまま

長期間強制収容し、死亡させた。外国人を送還させることしか考えていない入管の体質が生み出した殺人であり、入管体制を根本的に改めなければならぬ」と批判。また、根本的な問題として、日本の外国人に対する認識が日帝時代から変わっておらず、「敵視・管理」の対象として見続けてきたことを指摘。「過去の反省なくして、入管問題の解決はな

い」と語った。

その後、課題別報告として「国際基準からみた入管法改悪問題」を鈴木雅子弁護士が、「国際基準から見た朝鮮学校差別問題」在日朝鮮人人権協会の朴金優綺氏がそれぞれ報告。外国人に対する差別政策の是正を求める集会アピール文を朗読、採択した。

## ●愛知本部が「第16回韓統連愛知セミナー」を開催



康宗憲代表による講演

12月12日、名古屋市内で「第16回韓統連愛知セミナー」を開催した。主催は韓統連愛知本部。当日は多くの同胞、日本人が参加した。セミナーの冒頭では趙基峰代表委員が主催者挨拶し「来年の大統領選挙では民主化を後退させてはな

らず、必ず勝利しなければならない」と語った。

続けて韓国問題研究所の康宗憲代表が「南北・朝米関係の展望と韓国大統領選挙」と題し講演。1991年から30年間にわたる南北関係の様々な合意点を詳細に解説し、朝鮮半島は現在、相互の体制尊重と平和共存による「事実上の統一過程である」と解説。そのような流れを妨害しているのが歴代米政権であり、南北合意が履行されない原因は米国にあると語った。また、来年の大統領選挙については、韓国の政治体制は進歩対保守ではなく、保守対極右の対立構図であり、今回の選挙の争点は「自主と平等」をどう韓国社会に展開していくかであり、南北関係の進展と、経済格差も含め韓国社会の構造転換が必要な時代を迎えている、と強調した。

講演後は質疑応答を行い、講師を交え懇親会を開催した。

・セミナーの様子は、12月26日からYouTubeで視聴できます。「第16回韓統連愛知セミナー」で検索してください。

・康宗憲氏に関連する書籍が出版されました

「西大門刑務所の黙示録」 坪井兵輔著 かもがわ出版 1980円

## ●兵庫本部が「韓国大統領選挙を考える集い」を開催



宋世一委員長による情勢講演

12月12日、尼崎中小企業センターで「2022年韓国大統領選挙を考える兵庫の集い」が韓統連兵庫本部の主催により開催された。

崔孝行代表委員が主催者挨拶。「在日同胞に対する差別排外主義がはびこる原因は、祖国が分断

しており、植民地清算がされていないためだ。在日同胞問題を解決するためにも、来年の大統領選挙を考えよう。投票という権利を行使し、我々は微力ながらも無力でないことを示していこう」と語った。

続いて、宋世一委員長が「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」をテーマに講演。米国バイデン政権の対中国包囲網が朝鮮半島に及ぼす影響や、国連での文在寅大統領の「終戦宣言」をめぐる各国の反応などを解説。「積弊精算と平和・統一を継承・発展・実現していく大統領を選ぶことが重要だ。また自主・民主・統一を実現する観点からは、自主的民主政府の樹立が必要だ」と強調した。その後、候補者の紹介と選挙登録・投票について説明し、李善明副代表委員が閉会挨拶した。

ドキュメンタリー映画『私はチョンサラムです（私は朝鮮人です）』が、12月9日から韓国各地で劇場公開されることになり、金哲民（キム・チョルミン）監督の招待を受けて、金昌五（キム・チャンオ）事務長が12月2日から11日まで韓国を訪問した。その報告記事を今号と次号の2回に分けて掲載する。

## 釜山から春川まで、涙をぬぐいながら映画に見入る人たちとの出会い —映画『私はチョンサラムです』韓国上映会に参加して—

韓統連中央本部 事務長 金昌五

日本と韓国で自主上映が行われ、大きな反響を呼んでいるドキュメンタリー映画『私はチョンサラムです』が、12月9日から韓国で劇場公開されることになった。それに伴い、金哲民監督から招待を受け、12月2日から11日まで韓国を訪問することになった。新型コロナによる厳しい入国規制がある中で、いくつものハードルを越えて「2週間の隔離免除許可」を得て、いよいよ12月2日の朝、関西空港に向かっていると金哲民監督から電話があった。

「新型変異種オミクロンの発生に伴い、12月3日以降、2週間の隔離免除許可を得ている者も含めてすべて10日間隔離されることになりました」とのことだった。一日遅ければ韓国への出張を取りやめなければならないところだった。

強運にも恵まれ、予定通り12月2日午後2時に仁川空港に到着し、一日のみの検査隔離を経て、12月3日から公式日程が始まった。12月9日の劇場公開を前にして各地で試写会が行われていた。試写会を主催するのは、「キョレハナ（民族は一つ）」「朝鮮学校とともに歩む市民の会」「北側オリニ（子どもたち）栄養パン工場」「全教組（全国教職員組合）」「韓国進歩連帯」「進歩党」などの人たちだ。



大邱上映会後の打ち上げ

最初に参加したのは12月3日、慶尚北道・大邱（テグ）の上映会だ。会館の会議室などを借りて行う自主上映とは異なり、劇場公開前の試写会はずべて一般の映画館で行うことになっており、私は初めて映画館で映画『私はチョンサラムです』を見ることになった。ゆったりとした座席といい、スクリーンの大きさといい、音響の迫力といい、日本で経験した自主上映会とはまったく別物だった。映画を見ながら客席にも目を向けたが、身を乗り出してスクリーンに見入る人、涙をぬぐう人の姿に胸が打たれた。映画上映後、金哲民監督と私が紹介され、

司会者の進行のもと約1時間にわたり「観客との対話」の時間がもたれた。とてもなごやかな雰囲気の中で、活発な質疑応答と映画を見ての感想が語られた。劇場近くで行われた打ち上げは大いに盛り上がり、気がつけば午前1時だった。こんなに遅くまで飲んだのはいつ以来なのか思い出せないほどだった。

映画上映会の合間をぬって12月5日には、自主民主平和統一民族委員会のユーチューブ生放送「民族委が会う」に出演した。金哲民監督とともに出演した対談は、映画『私はチョンサラムです』の音楽を担当したノレペ（歌手グループ）・ウリナラのペク・チャ氏の司会で1時間にわたって放送された（内容は前号参照）。



映画のポスターを掲げる金哲民監督（左）、金昌五事務長（中央）、ペク・チャ氏（右）

※対談の様子は下記から視聴できます（YouTube）。

<https://www.youtube.com/watch?v=2HbNR1VDItQ&t=2584s>

12月6日には、慶尚南道・釜山（プサン）の上映会に参加した。折しもコロナ感染者が7千名を越えたということで、ワクチン接種完了・PCR検査陰性証明の確認などが厳格に適用されたため、会場まで来ながら映画を観られずに帰った人がいたのはとても残念だった。この日も「観客との対話」の時間がもたれたが、大邱上映会以上に多くの質問と意見が交わされ、その内容は釜山在住の統一運動家、キム・グアンス政治学博士がインターネット新聞「民プラス」で紹介されている（前号参照）。

12月7日には、ドラマ『冬のソナタ』で有名な江原道・春川（チュンチョン）の上映会に参加した。江原道は唯一南北にまたがる広大な道（どう）で、朝鮮に近い鉄原（チョロン）や東海（日本海）に近い江陵（カンヌン）などの遠方から2時間かけて映画を観に来た方が多数おられた。この日は、たまたま私の66歳の誕生日だったが、サプライズでバースデーケーキとプレゼントを用意してくださり、♪チュッカナムニダ・センイル（ハッピーバースデー・トゥーユー）…の大合唱で祝ってくださった。

12月8日には、京畿道・仁川（インチョン）の上映会に参加した。多くの若い学生たちが映画を楽しみにしていたが、コロナ感染者が急拡大したため参加できなくなったことをとても残念がっておられた。もちろん春川・仁川でも映画上映後に「観客との対話」が行われた。



ソウル上映会後の「観客との対話」

12月9日、いよいよ劇場公開の日を迎えた。劇場公開は、ソウル10ヶ所、釜山5ヶ所をはじめ全国43か所で行われるとのことだった。ソウル劇場公開の初日に当たるこの日の「観客との対話」には、金哲民監督と私とともに、映画には出演していないが映画上映を応援する立場で、東京オリンピック柔道銅メダリストの安昌林（アン・チャンリム）選手がボランティアで出演してくれた。

今までの試写会とは異なり、劇場公開は一般の人が自らチケットを買い自分の観たい映画を観るというものだ。ちょうど正月映画の『スパイダーマン』も上映されていて、果たして何人入ってくれるのか金哲民監督はとてもやきもきしていた。韓国ではコロナによる規制で映画館の入場者数は客席数にかかわらず100名以下に制限されていたが、ほぼ定員いっぱいの100名近い方が鑑賞してくれた。それまでの試写会とは異なり観客のほとんどは20代の女性で、どうやら安昌林選手のファンが大半を占めていたようだが「安昌林選手に会いたくて来たが、とてもいい映画を観ることができて良かった」との感想が多数寄せられていた。

この日で最後となった映画上映後の「観客との対話」。司会者に「最後に一言を」とマイクを向けられ、金哲民監督に感謝の言葉を贈った。「在日同胞に対する深い愛情と、祖国統一に対する情熱で、多くの人々に希望と勇気を与える映画『私はチョソンサラムです』をつくってくれた金哲民監督に、心から敬意と感謝の気持ちを伝えたいと思います。金哲民監督、本当にありがとう」。

釜山から春川、そしてソウルの劇場公開まで、映画『私はチョソンサラムです』の韓国上映会で、多くの国内同胞と出会えたかけがえのない日々だった。

『私はチョソンサラムです』の劇場公開は1月上旬までの予定で、その後はインターネットで有料配信される予定だという。

（※次号では、映画上映後に行われた「観客との対話」の内容を紹介します）

## ■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、公演や集会の動画などは韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCg8NZg52O1VTAMlgrXfqiQ>

韓統連



### ・第20代韓国大統領選挙案内を配布しています

韓統連では、来年3月に実施される韓国大統領選挙の案内を配布しています。現在の主要な大統領候補の紹介や、在外同胞の選挙登録、投票方法を解説しています。ご希望の方は、韓統連ホームページをご覧ください。下記までご連絡ください。

電話/FAX 03-4362-5284 メール [chuo@korea-htr.org](mailto:chuo@korea-htr.org)

## 행사예정 行事予定

### 12月

#### 韓国大統領選挙を考える集い(広島)

日時: 12月17日(金)午後5時30分開場、午後6時開始 場所: 広島市まちづくり市民交流プラザ  
内容: 講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師: 宋世一委員長、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内

主催: 韓統連広島本部 連絡先: 090-7779-1826

#### 韓国大統領選挙を考える集い(神奈川)

日時: 12月18日(土)午後2時開始 場所: サンピアンかわさき  
内容: 講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師: 李俊一総務部長、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内

主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261

#### 韓国大統領選挙を考える京都の集い(京都)

日時: 12月19日(日)午後3時開会 場所: 下京青少年活動センター  
内容: 講演「韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢」講師: 李俊一総務部長、解説「候補者たちの素顔と選挙公約」、在日同胞の登録・投票案内

主催: 韓青京都府本部 連絡先: 03-4400-5331

### 1月

#### 映画「私はチョソンサラムです」上映会(広島)

日時: 1月16日(日)午後1時30分開場 場所: 広島市西区民文化センターホール

内容: 映画上映、出演者をまじえてのトークイベント

主催: 同実行委員会 連絡先: 090-7540-0332

「大統領選挙を考える集い」が全国で開催されており、私もいくつかの地方で講師を担当します。各地の集いの報告を整理しながら改めて実感しますが、在日同胞に対する選挙広報がまったく行き届いていません。当局の怠慢であり、在外同胞への関心の低さに強い疑問を持ちます。今回の集いによって一人でも多くの同胞に私達の声が届くように励みたいと思います(李)